



国鉄新潟

消費税増税の法案 廃案へ

消費税増税をはじめ「社会保障・税一体改革」法案に関し、自民党、公明党が「修正協議」への参加を正式に決定し、民自公の3党で「修正協議」への動きが開始されました。

どんな世論調査でも、国民の50数%から60%は消費税増税に反対しており、この間の国会審議を通じても、国民多数の反対です。3党は合意の期限を15日に設定し、野田首相は谷垣総裁と党首会談で決着～その方向に進んでいます。

国会審議をつうじて、消費税増税は、暮らしと経済をどん底に突き落とす、財政危機をひどくする、貧困の格差に追い打ちをかけます。「一体改革」という消費税増税と社会保障改悪との「一体改悪」です。世論と運動をさらに広げて、消費税増税の法案を廃案に追い込んでいきましょう。



NO. 757
発行
12・6月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



危険と
戦ってきた

自然放射能と被曝

140億年前、私たちは今、住んでいる宇宙がビッグバンで出来たとき以来、この世の「物質」は核反応(核爆発)で作られた。

核爆発はすさまじいので、落ちていた元素ではなく、不安定な元素も作るのです、それが放射能を出します。だから宇宙は放射線で溢れている。

だから、私たち地球上に住んでいる人間も動物も植物も、自然から放射線を受けてる。
それが日本では1年に1.4ミリシーベルト、世界平均では2.4ミリシーベルト。



世界が誕生して以来、生物は、「危険」と戦ってきたが、紫外線や放射線といった「電

波「光」と戦い敵しかった。なにしろ太陽も原子炉だから、そこから強い紫外線が地表に達する。
古い生物はこの紫外線と戦い、敗れ海の底や地中に住んでいたが、偶然にも生物の呼吸でできた酸素が成層圏でオゾン層を作り、それが紫外線を防いでくれたので、生物も地表に出ることができた。

体を貫く

放射線は紫外線よりエネルギーが高いので、なかなか防御が難しい。紫外線は皮膚で止まるので、皮膚だけを防御すれば良いけれど、放射線は体を貫くので、どうしても体全体を防御しなければならぬ(裏面へつつく)



それでも、紫外線は厳しく、赤道に住む人は肌が黒くなって皮膚ガンを防ぐ、地域によって紫外線も違うので、黒人、黄色人種、そして白人ができた。

車両検修業務の委託拡大では 安全な車両は守れない!

業務委託後の要員数にJRが首を突っ込めない

その理由1 必要の検査があとどこかにひり安全が守れない!
一度ルール違反しても罰則化していないければ偽装請負ではない

その理由2 一度でも違反すれば偽装請負だ
技術継承はパートナー会社へ

その理由3 JR社員へ技術継承せよ!

国労の基本要請はこれだ!

- ①コンプライアンス徹底、偽装請負にならないルールの明確化
- ②JR本体の労働条件を下回らないこと
- ③車両検修業務以外には就労させないルール化
- ④仕業検査、機動班業務等をJR直轄で施工せよ

国労は安心して働き続けられる職場確保に全力をあげます!



自然放射線の中で（できるだけそれに近くに）

栄養のバランスを考えて（酵素を作る）

適度に休養をとって（キズを直す）

毎日を楽しく（酵素を増やす）

自然放射線の1.4ミリシーベルトはその3分の2が「内部被曝」、3分の1が外部からの放射線だ。だから、1を3で割ると0.47ミリシーベルト。これは1年だから365日×24時間でわって、1時間あたり0.05マイクロシーベルトになる。

3分の2が「内部被曝」 DNA（遺伝子）が傷つくと、それを複雑な酵素などで直していく、しかし、修復するための酵素を作るにも「原料」がいる。だから「栄養のバランスをとらなければならぬ」ということになる。休養も必要だ。睡眠時間も7時間とりた

3月12日に福島原発が爆発してから、最初の頃、政府が日本の1年間1.4ミリシーベルトではなく、世界平均データ（2.4ミリシーベルト）だけを言った。生物は1日に0.05マイクロシーベルトぐらいの放射線を浴びてもDNAが壊れても、それを直す力がある。「自然の中で過ごすことが一番」というのは放射線でも同じだ。そして少し刺激があった方が、守る力も「リストラ」されない。

山脈集推薦作品

嶋屋 孤舟 選

ボケたって籍はこの世に置いてある	両川 洋々	和解して根雪のとける音を聞く	野本 清魚
指を反らすと年齢並の皺が出る	石原 伯峯	ふる里に起点の杭が打ってある	塚田 素文
ライバルを祝う笑顔に嘘がある	小島 宏	枯れ葉舞うつとめ果した身軽さで	花房 桃風
駅前の灯も消して行く終列車	壺村 潔	花束を抱く手が銃を持ちたがる	北川 拓治
赤い花の指紋を探す途中下車	平山 敏子	無愛想で生き下手十指認め合い	河本 春峰
残高のない老骨に鞭を入れ	笠原 高二	スーパーへ一番星がついて来る	山中 たい子
指差し称呼もしやあなたもぼっば屋で	木下 草風	憐れみに縋る気はない車椅子	牛山 雲竹
ゆきおんななどの別れに似合うにこり酒	伊東 マコ	大根は母のやすらぎ母の白	土田 欣之
ほどほどの倅せ桜もちを買う	大関 ただし	笹の目を洩れた男のその後など	大村 美千子



今回久しぶりですが、「川柳」の作品集を載せました。この作品は「鉄道川柳」平成13年5月号の「山脈集推薦作品」です。

組合員、退職者の方々から、多くの作品をお願いします。

「国鉄新潟」で、文化・文芸関係の作品や地域での活動など、載せていきたいと考えています。現在は、過去の作品を紹介していますが、ぜひあなたの作品を地本教宣部までお寄せください。

よろしくをお願いします。

